

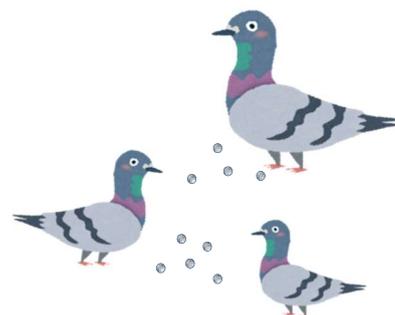
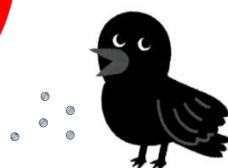


野鳥にエサを与えている光景

野生動物には、 エサを与えないで！



野生動物は、あなたの
ペットではありません！



なぜ、野生動物にエサを与えてはいけないの？

エサを
与えると

個体数が増える

人を恐れなくなる

自力で生き
られなくなる



被害発生!!

【被害の例】

- フンや羽毛などによる悪臭、汚れ
- アレルギーで困る
- 鳴き声などの騒音
- 人家に出没、棲みつく
- 作物や樹木の被害
- ゴミの散乱
- 生態系への影響





野生動物はなぜ増えるの？

ハト…1 回に 2 個の卵を産み、1 年に何度も卵を産みます。ヒナは 1 か月あまりで巣立ち、約 6 か月で卵を産めるようになります。

カラス…年に一度、4～5 月ごろに 3～5 個の卵を産みます。ヒナの巣成ちは 1 か月程度経った頃の 6～7 月ごろで、この時期は、巣の近くを通りかかるだけでも親鳥から襲われることがあるため、注意が必要です。卵を産めるようになるのには、おそらく 3 年はかかるだろうといわれています。

アライグマ…4～6 月に平均 3～7 頭の子どもを産みます。神奈川県内では 2～10 月に出産が確認されています。通常、1 歳で子どもを産めるようになります。

ハクビシン…1 年を通して繁殖が可能で、1 回に 2～3 頭の子どもを産みます。約 10 か月で子どもを産めるようになります。

タイワンリス…1 年を通して繁殖が可能で、最大で年 3 回の繁殖が可能とされています。1 回に 1～2 頭の子どもを産みます。約 1 年で子どもを産めるようになります。

これらの野生動物は、繁殖力も強く、エサとなる食べ物が多い街中で、どんどん増える傾向にあります。



無意識のうちに野生動物の餌付け行為を行っていませんか

野生動物が街中に出てくる最大の目的は「食物＝エサ」です。エサの味を覚えると「街馴れ」「人馴れ」し、街に頻繁に出没・徘徊します。野生動物のエサ場をなくすために、次のことを守りましょう。

- ① エサを与えない
 - ・「かわいい」「かわいそう」などの心情からエサを与えない
- ② 犬や猫などのペットのエサの管理
 - ・エサを屋外に放置しない
 - ・片付けまで責任をもって行う
- ③ 家庭菜園の管理
 - ・柵などを設置し、侵入を防ぐ
 - ・収穫した野菜や野菜くず、木になった果実などを放置しない
- ④ ゴミ出しマナーの徹底
 - ・できるだけ食べ残しなどの生ゴミを減らす
 - ・生ゴミは水分を切って新聞紙などで包む
 - ・ゴミは収集日当日の朝に出す
 - ・ポリバケツ等のゴミ箱を利用する

